

ロシア人にとって宗教とは

東海大学とモスクワ国立大学は、1973年に留学生の交換協定を締結し、当時は社会主義国家であった旧ソビエト連邦との文化・国際交流を推進し、両国間のあらゆる交流に関して多大な貢献をし現在に至っております。長年に亘りモスクワ国立大学の多数の留学生の指導に当られ、ソ連時代とロシア時代の実際の社会・文化に精通する山下氏が5回に亘り様々な角度からロシアを語ります。



日時 **2016年**
8月27日(土) 13:30 ~ 15:00

講師 **山下 万里子**
東海大学名誉教授 / 日本対外文化協会 理事

講座予定
第4回 **ロシア文学**
～ノーベル文学賞受賞作家～
(9月17日)
第5回 **ロシア人の習慣**
～日常生活、今、昔～
(11月12日)

※ 各回毎に受講申込が必要です。

講座内容

ロシアの宗教はキリスト教のひとつであるロシア正教です。世界の宗教界は今年画期的な出来事を経験しました。カトリックの総本山フランスコローマ法王とロシア正教会のキリル総主教が1000年という時を経て会見しました。カトリックとロシア正教会を統一するという問題は昔から持ち上がっており、キリストの捉え方そのものに大きな隔たりがあり、解決していません。多民族国家のロシアは宗派もイスラム教、ユダヤ教、仏教など数多くあります。ここではロシア人に的を絞って、革命前、宗教が禁止されたソ連時代、現在とそれぞれの時代ロシア人はどのように神を信じ、神に祈ったかを考えます。

アクセス



お申込はお電話で
0463-78-5188

駅から
徒歩
1分

受講料
無料

定員
20名

要
電話
申込

受講には各回のお申し込みが必要です。サテライトオフィスまでお電話ください。
申込み受付時間 **9:00~17:00** (※日曜・祝日は原則休業のため申込み受付はしていません)
申込期限は開講日前日16:00までとなり、定員になり次第募集終了させていただきます。
受講者は秦野・平塚・伊勢原・大磯に在住・在勤・在学者に限らせていただきます。